

平成 21 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
 代表者名 取締役社長 井手 明彦
 (コード番号 5711 東・大証第 1 部)
 問合せ先 広報・I R 室課長 鈴木 信行
 (T E L 03-5252-5206)

第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期業績予想の修正
 及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 3 日に公表しました平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表した同実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 11 日に公表しました通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）
 の業績予想値と実績値との差異

(1) 差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 8 月 3 日発表)	497,000	△10,000	△34,000	△39,000	△30.75
第 2 四半期連結累計期間 実績 (B)	490,179	△6,054	△27,165	△32,504	△25.63
増 減 額 (B－A)	△6,821	3,946	6,835	6,496	—
増 減 率 (%)	△1.4	39.5	20.1	16.7	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	784,402	36,349	48,224	20,250	15.94

(2) 差異の理由

第 2 四半期連結累計期間においては、伸銅品やアルミ圧延・加工品の販売が低迷したこと、売上高は前回予想値を下回りました。営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、銅価格が当初の想定を上回る水準で推移したことや、自動車・半導体向け需要の落ち込み幅が想定に比べ縮小したことなどから、前回予想より改善いたしました。

2. 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想の修正

（1）連結業績予想の修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成 21 年 5 月 11 日発表）	1,060,000	11,000	△21,000	△50,000	△39.42
今回修正予想（B）	1,050,000	4,000	△27,000	△60,000	△47.31
増減額（B－A）	△10,000	△7,000	△6,000	△10,000	－
増減率（％）	△0.9	△63.6	△28.6	△20.0	－
（ご参考） 前期（平成 21 年 3 月期）実績	1,424,114	35,134	40,046	6,106	4.81

（2）個別業績予想の修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成 21 年 5 月 11 日発表）	525,000	0	2,000	△27,000	△21.29
今回修正予想（B）	586,000	△13,000	△6,000	△30,000	△23.65
増減額（B－A）	61,000	△13,000	△8,000	△3,000	－
増減率（％）	11.6	－	－	△11.1	－
（ご参考） 前期（平成 21 年 3 月期）実績	712,758	6,042	35,657	15,033	11.84

（3）修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き銅価格が当初の想定を上回り推移すると見込まれるものの、自動車・半導体向けや国内外の設備投資関連に関わる需要低迷が長期化する見通しにあります。当社グループは、コスト対策を一層強化するなど収益改善に取り組んでおりますが、厳しい事業環境の影響を受け、連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が、前回予想に比べて減少する見込みであります。また、個別業績につきましては、堅調な銅価格を背景に売上高は増加いたしますが、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想に比べて減少する見込みであります。

前提条件

	前回発表予想	今回修正予想
銅価格	160 円／lb	244 円／lb
為替	95 円／USD	92.7 円／USD

3. 配当予想の修正について

当年度期末の配当予想につきましては、未定としておりましたが、当年度の業績予想を下方修正せざるを得なかったことを勘案し、誠に遺憾ながら、実施を見送る予定であります。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間計
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想	—	0.00	—	(未定)	(未定)
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00	—	—	—
前期（平成21年3月期）実績	—	4.00	—	0.00	4.00

4. 今後の施策

当社グループは、「総合経営対策」及びこれを徹底・深化させた追加対策に基づき、緊急的なコスト対策に加えて、経営資源の集中や低コスト体質への転換を図るべく、グループ一丸となって諸施策に取り組んでまいりました。しかしながら、長期化する景気低迷の影響を強く受けたことにより、通期業績予想の大幅な下方修正を余儀なくされたことを重く受け止めております。

当社といたしましては、引き続き「総合経営対策」及びその追加対策を強力に推進し、低コスト体質への転換を図ることで強固な経営基盤を築き、来年度の着実な黒字化とその後の飛躍に繋げるべく全力を尽くす所存であります。また、予想以上に悪化した事業環境に対応するため、体質改善・事業構造改革などの抜本的対策の断行についても検討してまいります。

今後も引き続き、不退転の覚悟をもって、これらの諸対策を全社一丸となって推進し、経営基盤の強化と業績の早期回復に努めてまいる所存であります。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上